

コース名	1日で学ぶ！はじめての経営数字 【新潟市開催】 ～リーダーが押さえておくべき会計知識～				
研修のねらい	厳しい経営環境下で中小企業が成長・発展していくためには、経営層や財務会計担当者だけでなく事業部門を支えるリーダーが決算書の見方を理解し、全社的に「経営数字」の視点で経営課題に取り組み、利益を確保していくことが重要です。また、昨今の目まぐるしく変化する経営環境の中で、事業部門における判断、意思決定は一層複雑化しており、勘や経験に過度に頼ることなく客観的な評価である自社の「経営数字」を活かしていくことが有効となります。 本研修では決算書の見方を身につけ、経営状態やお金の流れ、収益構造を把握する勘所を理解するとともに、「経営数字」を実務に活かすポイントや方法について学びます。				
研修の特長	・決算書（貸借対照表、損益計算書）の見方を学びます。 ・決算書から経営状態や収益構造を読み解くポイントを学びます。 ・「経営数字」を実務に活かすポイントや方法を学びます。				
会場	新潟ユニソンプラザ （新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号）				
研修期間	2025年3月12日(水曜) 〈1日間〉 (詳細)第1回2025年3月12日(水曜)				
受講対象者	管理者、新任管理者 ・経営数字を実務に活かしたい事業責任者やその候補者 ・財務・会計に苦手意識のある方 ・決算書の見方が分かるようになりたい方	定員	20 名	受講料	16,000 円

※定員については、30名程度まで受け入れることがあります。

月日	時間	科目	内容	講師
3/12 (水)	9時50分～10時00分	オリエンテーション		久保 道晴 久保公認会計士事務所 代表
	10時00分～11時00分	リーダーに必須な知識・スキルとしての 経営数字	リーダーが「経営数字」を実務に活用していく必要性、有効性を理解し、その実践のポイントについて学びます。 ・リーダーに求められる「利益感覚」「コスト意識」 ・経営数字を活用する有効性とその実践のポイント	
	11時00分～15時00分 (昼休 12時30分 ～13時30分)	経営数字の基本	経営数字を活用する上で必要となる決算書の見方のポイントを学びます。 ・決算書とは（意義・目的、種類と関係性、決算書の成り立ちなど） ・貸借対照表、損益計算書とは （役割・必要性、構造、読み取れることなど） ・決算書の見方のポイント	
	15時00分～17時00分	経営数字の実践的活用法	明日から実践できる経営数字の活用法を学びます。 ・収益構造を把握するポイント ・事業活動のPDCAサイクルの評価に活かすポイント ・事例から学ぶ実践的活用のヒント	
	17時00分～17時10分	修了証書の授与		

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
久保 道晴 （くぼ みちはる） 久保公認会計士事務所 代表	2006年、公認会計士試験に合格し、あずさ監査法人（現 有限責任あずさ監査法人）に入所。2011年に独立後、中小企業の事業承継、後継者育成に特化した支援を行う。公認会計士・税理士・中小企業診断士・1級ファイナンシャル・プランニング技能士。 【主な著書】「オーナー社長の後継者育成読本」「ソリューション営業のためのFP実践講座」（共著）「事業承継入門講座」（共著）など。 【中小企業大学校での登壇実績】事業承継・廃業支援の進め方、経営管理者養成コース、次世代トップリーダー養成講座、経営力再構築伴走支援研修など。